

成年後見推進活動

親の会である当会が行える成年後見事業のあり方について、一昨年より模索・検討してまいりましたが、現行の成年後見制度では、身上監護の部分で義務付けられていないが、しかし、親である私たちが一番望んでいる日常生活における見守り支援を行うため、次年度、『成年後見・見守りTAI』を立ち上げることとなり、そのための養成講座を会員を対象に、今年度、10月より5日間に亘って10講座行います。

地域での見守りが進められている高齢者と比べると、知的障害者は、大きく遅れをとっておりますが、まずは会員同士が助け合う「共助」の観点から事業を進め、やがては「公助」へつなげたいと思っております。

本人活動

将来、自分たちが自立した生活ができるよう、それに必要な勉強会を企画したり、余暇を自分たちで楽しむためのレクリエーションを行っています。

年間スケジュール

月1回(第3木曜日)	定例会
レクリエーション	年3回
勉強会	年3回
☆近畿大会・全国大会の本人大会に参加	

※活動の内容は毎月「月刊いくせい」に掲載

ワーキングサポート活動

ここ数年、多くの知的障害者が一般企業で働くようになりました。しかしながら、『働くこと』よりも『働き続けること』の方がより困難で、専門機関の様々な支援と共に、家庭でのサポートが不可欠となってまいります。ともすれば孤立しがちな家族を支えるため、関連機関の講師による研修会や座談会、また、自立に向けた見学会を行い、94家族(8月1日現在の当会における企業就労者数)の保護者のサポートにあたっております。

*24年度事業報告・計画

24. 8. 8(水) 『神戸障害者就業・生活支援センターが取り組んでいる

知的障害者の就労支援と余暇支援』

講師：井上 待子 氏 (神戸障害者就業・生活支援センター 課長)

25. 3頃 他市グループホーム見学

